

10月号の主な内容

定価 617円 (税込み)



特集1

外国人との接し方講座

法改正により、日本ではこれからの5年間で約34万人の外国人労働者を受け入れることになります。農業においても、最大3万6500人の労働者としての雇用が見込まれています。そこで、宗教や文化の違いを超えて外国人労働者とのように付き合えばよいのか、そのポイントを探ります。

特集2

お洗濯の新常識

どの家庭でも毎日している洗濯ですが、意外に間違ったやり方をしていることが多いものです。そこで、読者が勘違いしているやり方と正しいやり方を、実際にテストして比較します。また、どうしても落ちなくて諦めていた汚れをきれいに落とす裏ワザも、比較検証しながら紹介します。

特集3

暮らしに役立つ 色のすご〜いチカラ

色のもつさまざまな特徴や効果を楽しく紹介します。まずは「好きな色」で自分の知らなかった性格をピタリと診断。さらに「どっちがおいしそうに見える?」「どっちが高価に見える?」など、クイズ形式で生活に役立つ色の効果や活用法を解説します。

ハッピーマイライフ運動関連企画

2020 未来へのこす わたしノートの勧め

もしものときに備えて自分の思いや希望を記録するほか、介護や相続などの終活の準備にも役立つエンディングノート。12月号第2別冊付録となる2020年版「わたしノート」は、さらに内容を充実。エンディングノートを書くメリットや心構えなどについて、わかりやすく紹介します。



定価 606円 (税込み)



定価 483円 (税込み)

《農業・農政の動きを読み解く企画》

特集「連携」だけで語っていいのか「農福両道」の使命

農業の担い手不足解消の一つとして注目される「農福連携」。福祉の視点で見ると、障害者の働く場所づくりや、賃金収入による生活力の向上などをめざした取り組みだとされますが、障害者の心身のケアやノーマライゼーションの実現など、福祉が本来有する目的の実現にも寄与しなければいけないはず。いわば“福祉への参入”ともいえる農福連携の、社会に果たすべき役割を再考します。

リーダーになつて



LINEスタンプ「地上マンとゆかいな仲間たち」も好評発売中!

おむすびキッズコンテスト連動企画

これでカンペキ!

おにぎりマスター

みんなが食べておいしいという、納得のおにぎりはどんなおにぎりでしょう?

パリパリのり? しつとりのり? ふんわりタイプか、きっちり握っているのか。おいしさの違いを、編集部で検証します。おにぎり向けに、炊く場合のごはんの水分量や、冷めてもおいしいおにぎりの握り方など、完全マスターする企画です。

